12　品目別調査結果　その他品目

1.　野菜(きゅうり・トマト・アスパラガス・さやいんげん・ねぎ・ブロッコリー・グリーンピース)
2.　きのこ類(しいたけ・なめこ)
3.　果物(梨・りんご・ぶどう)
4.　水産物(カツオ・カレイ類・シラス・マアナゴ)
5.　畜産物(豚肉・鶏肉・牛乳)

その他の品目に関する掲載内容

- 野菜７品目、きのこ２品目、果物３品目、水産物４品目、畜産物３品目の計19品目について、概要調査とアンケート調査の内容を記載している。
  - 品目によって収集可能なデータが違っているため、掲載内容も異なる。
  - 野菜ときのこについては、概要調査のデータを幅広く収集して記載している。

品目ごとの掲載内容（野菜・きのこ）

	きゅうり	トマト	アスパラガス	さやいんげん	ねぎ	ブロッコリー	グリーンピース	しいたけ	なめこ
出荷量※1(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	○	○
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	△（※３）	○	○
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△（※２）	△（※２）	○	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）
東京市場と大阪市場における価格	○	△（※２）	△（※２）	○	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※１：しいたけ・なめこは生産量。　※２：東京市場のみ。　※３：一部の市場のみ。

その他の品目に関する掲載内容

- 果物と水産物については、おおむね野菜・きのこと同様の内容を掲載している。
- 畜産物については、政府統計が存在しない（更新が停止されている）などの理由から概要調査の情報は限られている。

品目ごとの掲載内容（果物・水産物・畜産物）

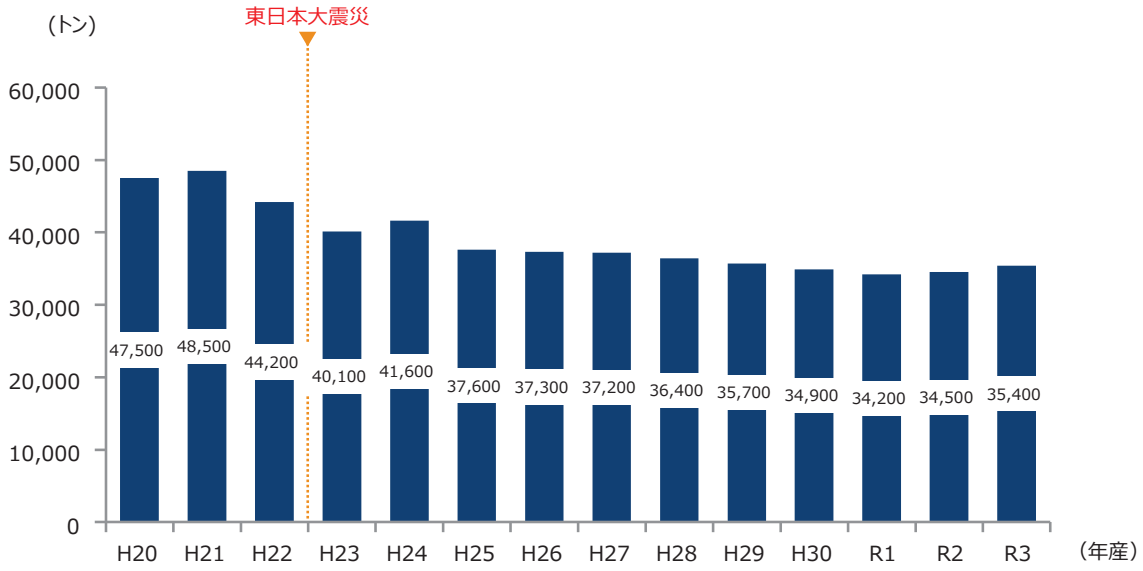
	梨	りんご	ぶどう	カツオ	カレイ類	シラス	マアナゴ	豚肉	鶏肉	牛乳
出荷量(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	○	○	△(※2)	△(※3)
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	○	△(※1)	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
東京市場と大阪市場における価格	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※１：東京市場のみ。　※2：平成26年までのデータのみ。　※3：系統出荷分のみ。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

福島県産きゅうりの出荷量は、震災前と比較して減少した。平成24年産に前年産の出荷量を上回ったものの、近年は35,000トン前後で推移している。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

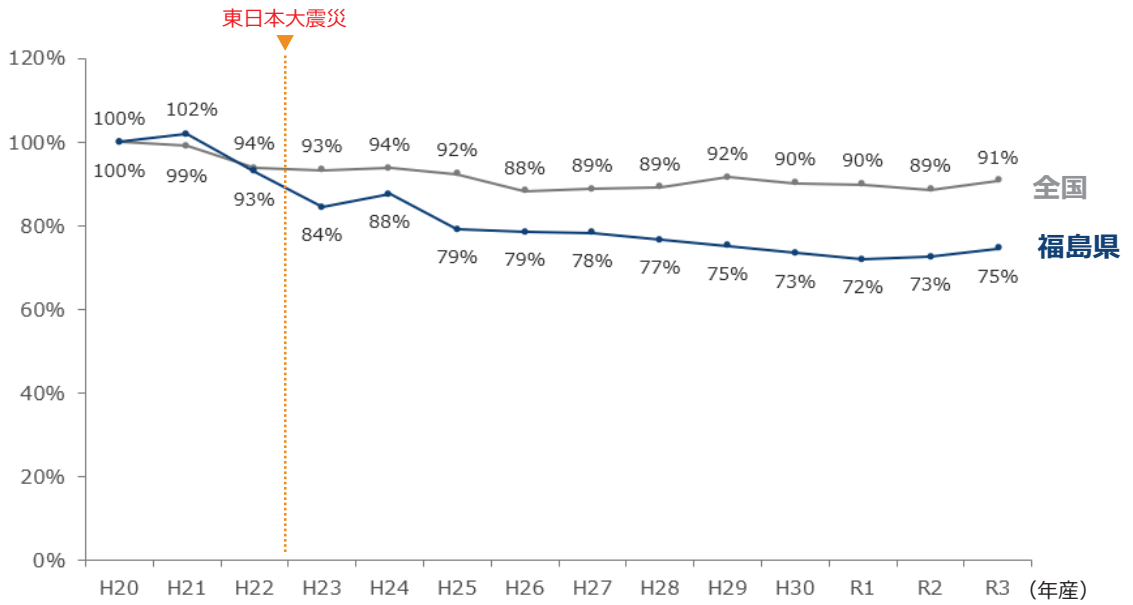


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移

全国のきゅうりの出荷量は、近年おおむね横ばいで推移している。一方で、福島県産きゅうりの出荷量は令和元年産まで減少傾向で推移し、以降は微増となっている。

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

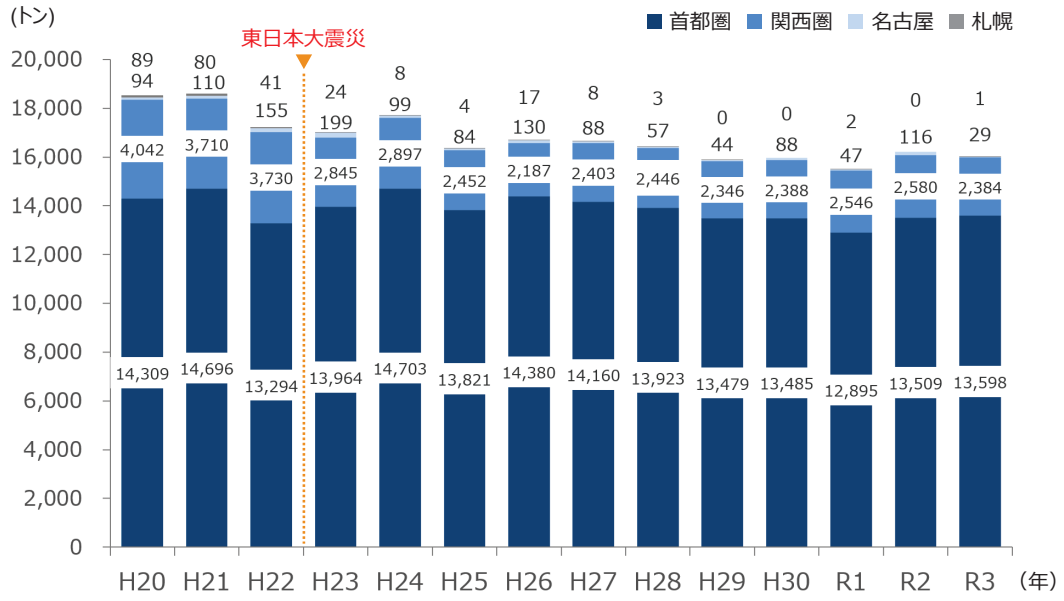


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産きゅうりは、主に首都圏で取り扱われており、震災後、関西圏への出荷は減少している。また、名古屋・札幌での流通は震災前から少ない。

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、7月～9月は福島県産きゅうりのシェアが１位であった。横浜市中央卸売市場では、6月～10月で福島県産きゅうりのシェアが１位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	1%	3%	14%	41%	43%	25%	14%	2%	0%	10,710
群馬	7%	17%	25%	25%	26%	25%	7%	3%	15%	28%	22%	10%	13,501
埼玉	4%	4%	14%	23%	26%	25%	4%	0%	10%	22%	25%	11%	11,003
宮崎	44%	32%	20%	15%	11%	2%	1%	0%	0%	3%	23%	44%	10,284
千葉	15%	19%	17%	13%	10%	8%	4%	2%	2%	3%	8%	16%	6,990
総量	**4,711**	**4,797**	**6,137**	**7,417**	**7,633**	**7,534**	**8,177**	**7,943**	**6,813**	**5,767**	**5,191**	**4,532**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	4%	11%	27%	47%	47%	36%	33%	12%	0%	2,888
高知	51%	43%	35%	25%	20%	9%	1%	0%	0%	4%	26%	44%	2,645
群馬	1%	9%	19%	22%	22%	16%	0%	1%	11%	22%	22%	5%	1,736
宮崎	30%	23%	14%	13%	9%	4%	0%	0%	0%	2%	16%	31%	1,431
千葉	14%	17%	16%	13%	9%	8%	5%	3%	2%	2%	6%	15%	1,206
総量	**911**	**922**	**1,119**	**1,330**	**1,321**	**1,231**	**1,506**	**1,553**	**1,250**	**1,040**	**1,023**	**853**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、7月～9月は福島県産きゅうりのシェアが１位であった。京都市中央卸売市場では、7月～8月は福島県産きゅうりのシェアが２位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	12%	33%	36%	27%	4%	0%	0%	2,062
宮崎	40%	36%	40%	45%	49%	32%	5%	1%	7%	32%	55%	45%	5,432
高知	22%	24%	22%	19%	13%	13%	1%	1%	0%	3%	17%	22%	2,154
徳島	16%	16%	14%	12%	9%	7%	1%	0%	0%	0%	1%	11%	1,188
総量	**1,095**	**1,124**	**1,377**	**1,697**	**1,585**	**1,815**	**2,079**	**1,853**	**1,581**	**1,385**	**1,221**	**1,252**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	1%	21%	25%	8%	0%	0%	0%	322
宮崎	62%	60%	52%	44%	37%	24%	4%	1%	2%	12%	42%	57%	2,052
滋賀	6%	5%	10%	15%	19%	20%	5%	1%	9%	20%	20%	13%	801
高知	20%	19%	14%	12%	9%	12%	1%	0%	0%	4%	15%	19%	643
京都	1%	0%	0%	0%	1%	9%	25%	31%	19%	9%	3%	1%	581
佐賀	2%	5%	6%	8%	9%	8%	3%	2%	10%	15%	8%	1%	442
総量	**439**	**442**	**524**	**629**	**622**	**683**	**595**	**547**	**624**	**529**	**492**	**455**	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場において、福島県産きゅうりは、年間を通して、取扱いがわずかであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産きゅうりの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	29
愛知	57%	61%	56%	48%	38%	31%	6%	2%	1%	5%	35%	53%	5,704
長野	0%	0%	1%	5%	7%	20%	52%	56%	31%	20%	6%	1%	3,126
宮崎	20%	16%	16%	17%	16%	9%	1%	0%	0%	5%	14%	17%	1,912
群馬	0%	2%	7%	11%	15%	16%	2%	0%	10%	31%	22%	0%	1,706
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	29%	26%	32%	16%	3%	0%	1,610
総量	**1,235**	**1,210**	**1,539**	**1,934**	**1,852**	**1,762**	**1,719**	**1,560**	**1,403**	**1,213**	**1,190**	**1,143**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
北海道	0%	0%	1%	2%	8%	77%	100%	100%	100%	80%	18%	0%	4,626
宮崎	87%	75%	65%	67%	57%	15%	0%	0%	0%	12%	74%	93%	2,559
千葉	12%	24%	25%	20%	17%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	519
埼玉	0%	0%	2%	1%	8%	2%	0%	0%	0%	6%	7%	2%	151
群馬	0%	0%	5%	4%	2%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	74
総量	**382**	**355**	**464**	**609**	**592**	**930**	**1,500**	**1,060**	**822**	**470**	**468**	**398**	

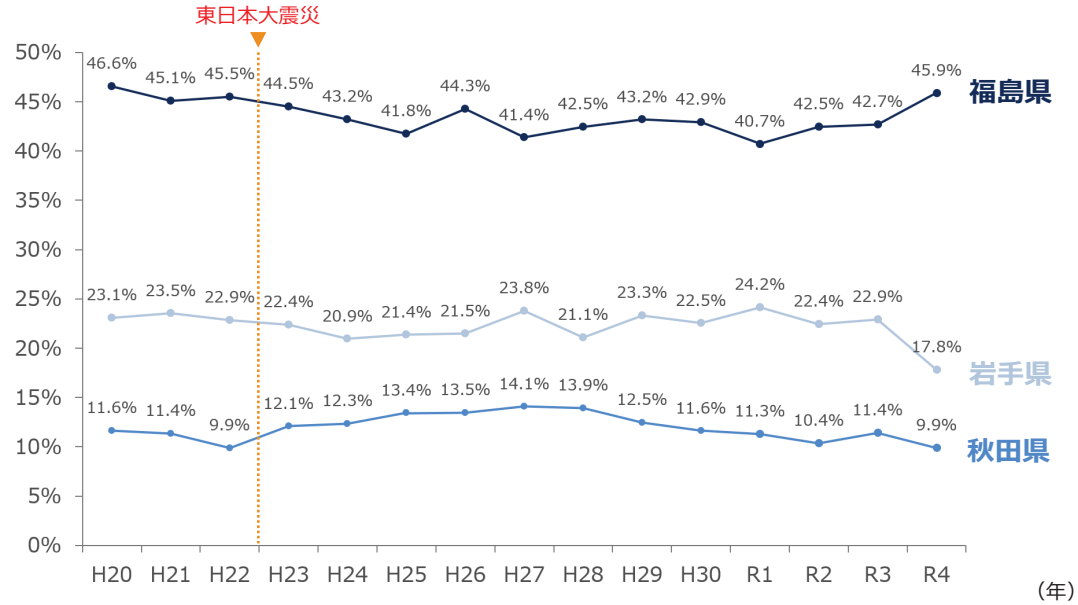
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産きゅうりは、震災後にシェアが微減したものの、40%以上のシェアを維持している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

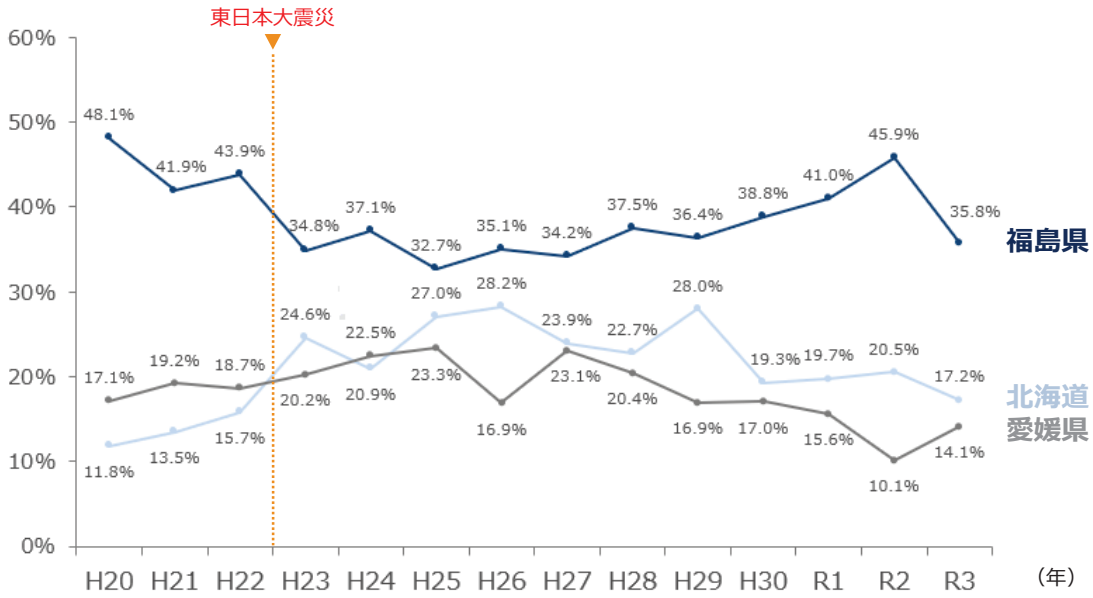


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

大阪市中央卸売市場の8月の福島県産きゅうりは、震災後にシェアが縮小し、北海道産のシェアが拡大する状況が続いていた。平成25年～令和2年は、福島県産のシェアが拡大したが、令和3年は再び縮小した。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

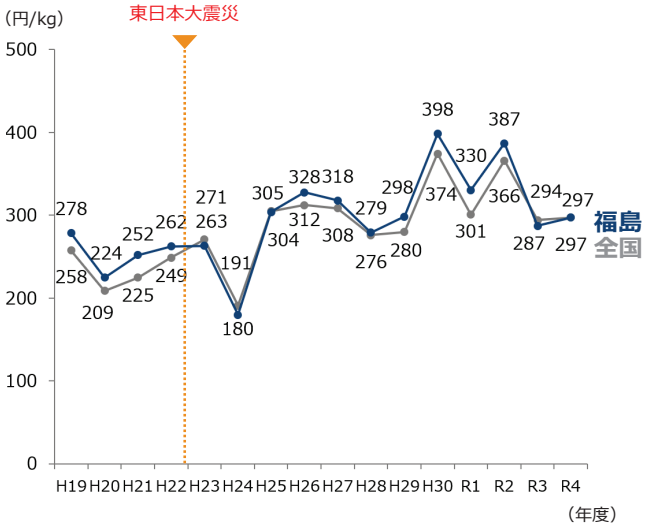


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

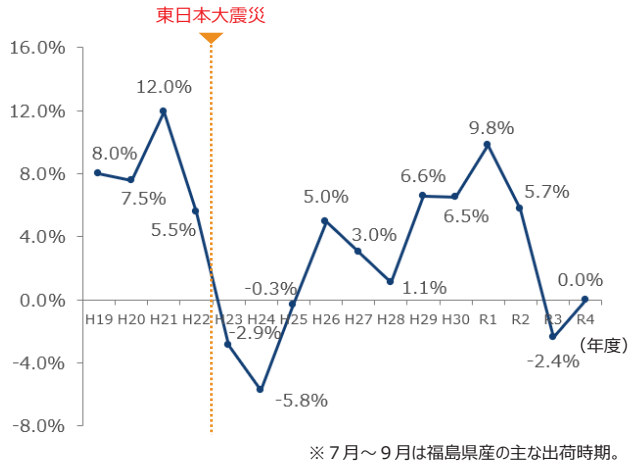
福島県産きゅうりの価格回復概況（夏秋きゅうり（７月～９月）全国平均との価格差）

東京都中央卸売市場における7月から9月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後３年間は全国平均を下回っていたが、平成26年度以降は令和3年度を除いて全国平均と同水準以上となっている。

東京都中央卸売市場における平均単価推移（夏秋きゅうり）



全国平均との価格差推移（夏秋きゅうり）



→ 震災前(平成22年度)：262円/kg

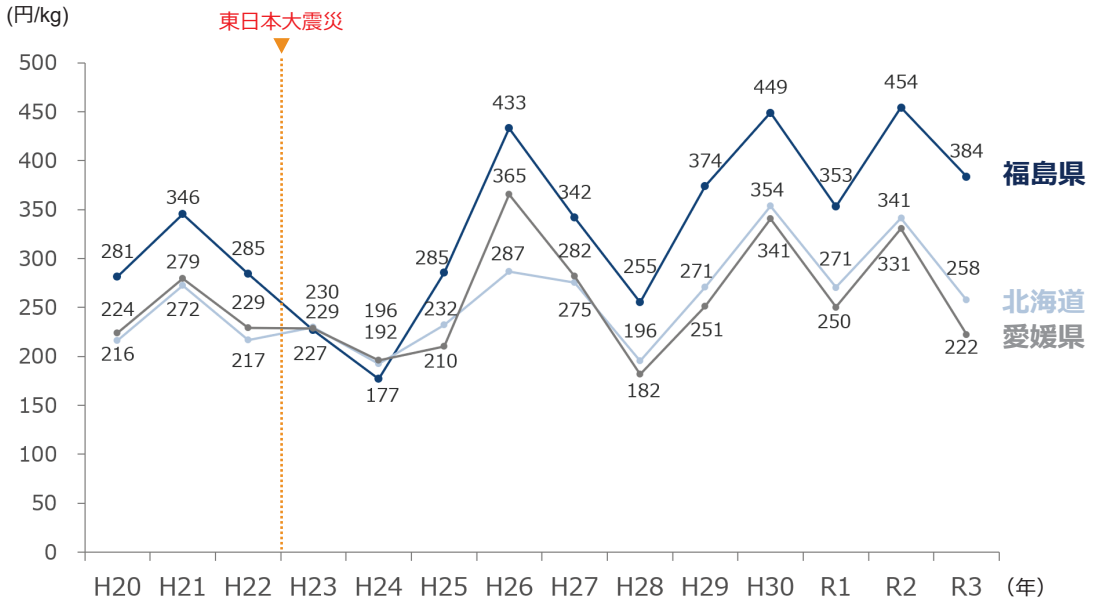
→ 震災後(令和4年度)：297円/kg(+35円/kg)

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりの単価の推移

大阪市中央卸売市場の８月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後2年間は他道県産を下回っていたが、平成25年以降は他道県産を上回る水準で推移している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)

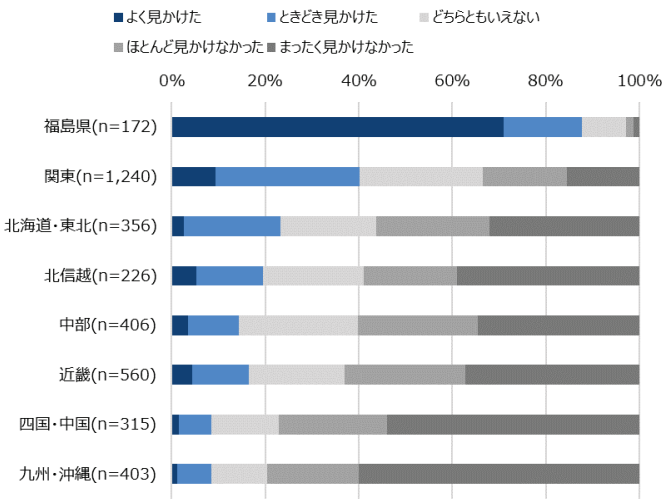


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

福島県産きゅうりを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

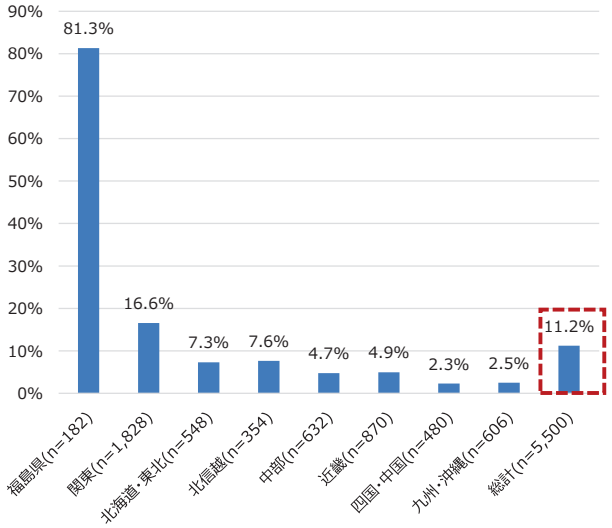
福島県産きゅうりをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産きゅうりを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では11.2%であった。

福島県産きゅうりを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産きゅうりの購買経験率

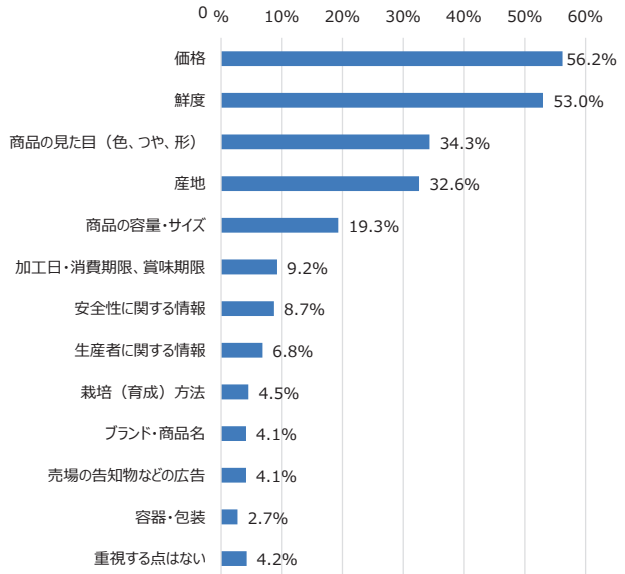


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

きゅうり購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

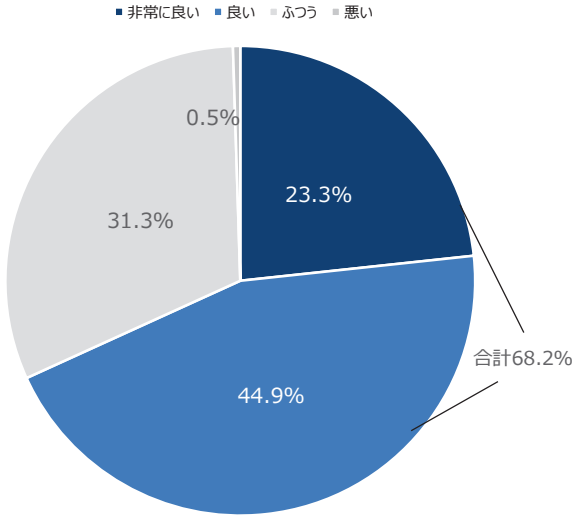
福島県産に限らず、きゅうり購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産きゅうりの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が68.2%であった。

きゅうり購買時の重視点（n=4,542、複数回答）



※きゅうり購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上きゅうりを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産きゅうり購買者の評価（n=617）

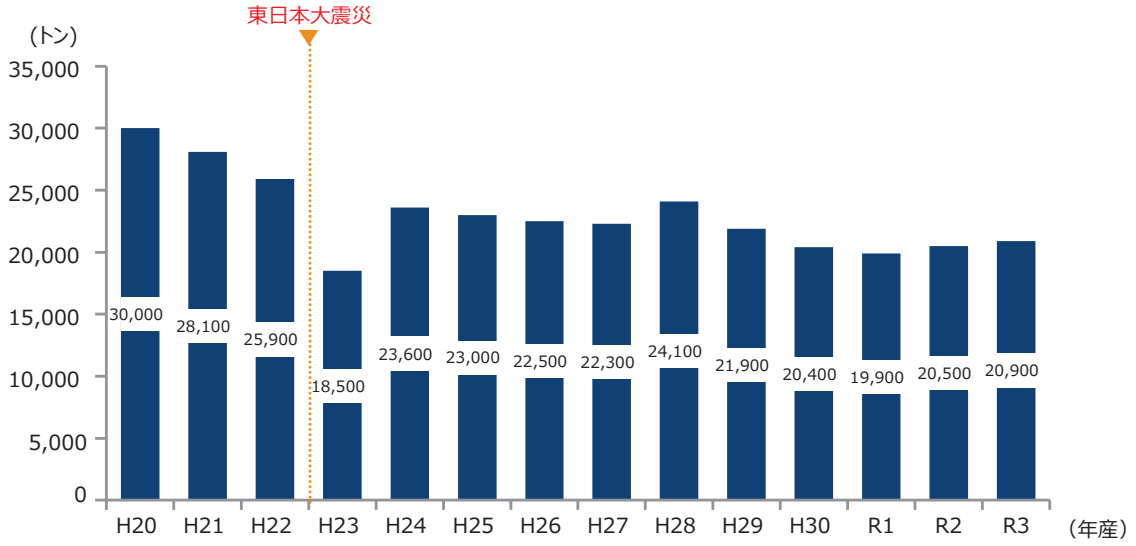


※福島県産きゅうりを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマトの出荷量の推移

福島県産トマトの出荷量は、震災直後に急落した後に回復し、その後緩やかな減少傾向にあったが、令和2年産以降は微増した。

福島県産トマトの出荷量の推移

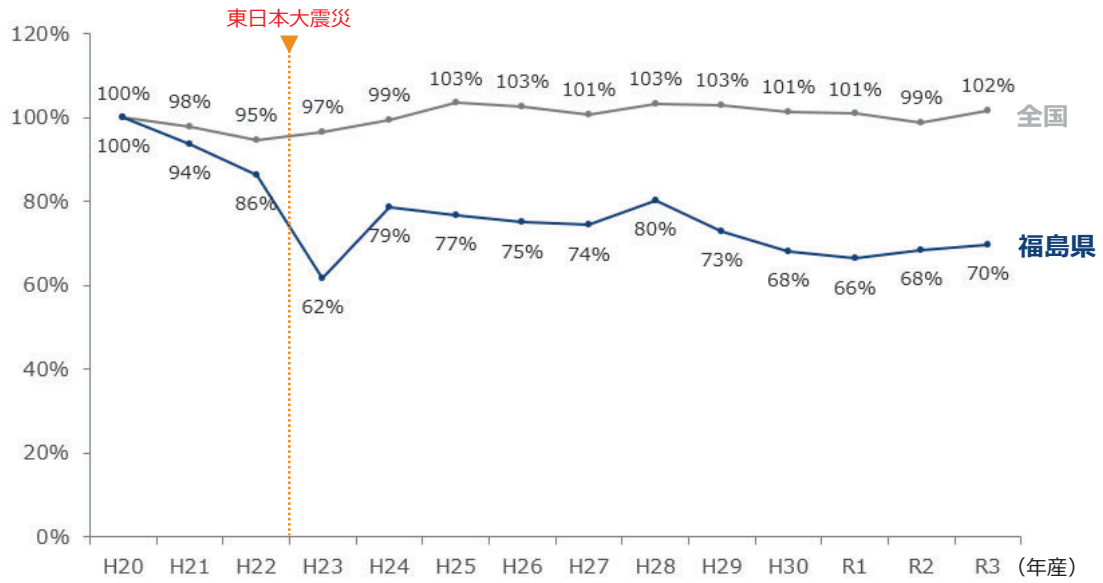


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産トマトの出荷量の推移

全国のトマトの出荷量はおおむね横ばいで推移している。一方で、福島県産トマトの出荷量は震災以前と比べて低い水準で推移している。

全国・福島県産トマトの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

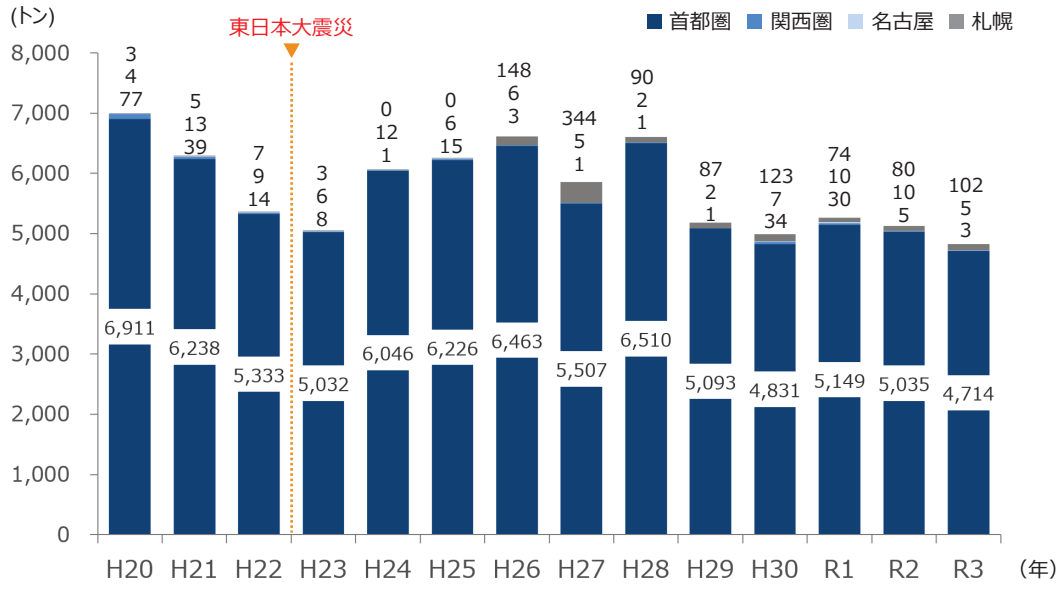


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産トマトは、震災前後を問わず、多くが首都圏で取り扱われている。札幌では、震災後に取扱量が増えている。

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるトマトの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、８月～10月は福島県産トマトのシェアが10~20%程度まで高まったが、それ以外の月では取扱いがほとんど見られなかった。横浜市中央卸売市場では、７月・８月で市場シェアで３位以内となった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	1%	0%	1%	1%	6%	18%	15%	11%	2%	1%	3,851
熊本	48%	37%	35%	35%	30%	17%	5%	4%	2%	11%	23%	40%	17,879
栃木	16%	21%	23%	24%	23%	23%	9%	1%	2%	3%	11%	18%	11,410
愛知	13%	13%	11%	11%	11%	10%	4%	0%	1%	6%	15%	17%	6,923
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	6%	17%	23%	21%	16%	5%	0%	6,104
千葉	3%	3%	4%	6%	7%	10%	5%	2%	14%	15%	18%	6%	5,794
総量	**5,937**	**5,448**	**6,294**	**7,346**	**9,097**	**7,249**	**8,005**	**8,199**	**5,902**	**5,825**	**4,478**	**4,478**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	3%	15%	19%	14%	8%	2%	0%	864
熊本	76%	70%	66%	66%	60%	37%	6%	10%	2%	22%	49%	73%	7,034
千葉	5%	5%	6%	6%	7%	7%	4%	4%	22%	21%	21%	7%	1,445
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	7%	25%	27%	19%	16%	6%	0%	1,399
栃木	10%	14%	15%	14%	13%	14%	2%	0%	0%	0%	4%	8%	1,315
青森	0%	0%	0%	0%	0%	5%	20%	19%	16%	8%	2%	0%	980
総量	**1,291**	**1,105**	**1,325**	**1,571**	**1,872**	**1,345**	**1,551**	**1,560**	**1,157**	**1,279**	**978**	**1,026**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるトマトの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、福島県産トマトの取扱いはほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では、１年を通じて福島県産トマトの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
熊本	84%	81%	82%	80%	77%	49%	11%	3%	2%	22%	57%	79%	9,424
北海道	0%	0%	0%	0%	2%	21%	46%	37%	37%	24%	2%	0%	3,366
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	1%	20%	42%	42%	35%	17%	0%	3,010
愛知	6%	8%	7%	6%	8%	13%	6%	0%	0%	3%	7%	9%	1,122
福岡	5%	6%	6%	9%	7%	3%	0%	0%	0%	4%	6%	5%	775
総量	**1,285**	**1,363**	**1,502**	**1,749**	**2,058**	**1,715**	**2,076**	**2,485**	**1,940**	**1,536**	**1,082**	**1,121**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
熊本	67%	60%	57%	54%	54%	39%	11%	10%	3%	12%	35%	61%	4,719
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	18%	51%	42%	39%	32%	3%	0%	2,632
福岡	20%	22%	24%	28%	23%	16%	4%	0%	0%	11%	20%	18%	1,905
岐阜	0%	0%	1%	0%	0%	1%	18%	43%	34%	20%	3%	0%	1,727
三重	3%	5%	5%	6%	9%	10%	3%	0%	0%	0%	1%	6%	517
総量	**865**	**733**	**901**	**1,225**	**1,384**	**1,155**	**1,595**	**1,706**	**1,256**	**1,114**	**811**	**878**	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるトマトの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産トマトの取扱いはほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、1月～3月、5月～7月、11月～12月にシェアが３位以内となったが、北海道産トマトや熊本県産トマトに比べ、取扱量はわずかであった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
熊本	57%	53%	58%	60%	55%	34%	5%	0%	1%	11%	26%	45%	5,285
岐阜	12%	11%	13%	13%	11%	13%	36%	67%	66%	51%	26%	11%	4,463
愛知	17%	22%	17%	14%	21%	29%	24%	10%	9%	13%	25%	23%	2,960
三重	11%	11%	11%	12%	13%	14%	4%	0%	0%	4%	18%	19%	1,455
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	19%	15%	13%	12%	0%	0%	921
総量	**1,247**	**1,039**	**1,183**	**1,541**	**2,009**	**1,468**	**1,578**	**1,755**	**1,181**	**1,209**	**842**	**840**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	2%	3%	5%	5%	3%	1%	0%	0%	0%	2%	2%	102
北海道	0%	0%	1%	10%	56%	91%	99%	100%	100%	99%	84%	3%	3,784
熊本	93%	84%	78%	74%	37%	5%	0%	0%	0%	1%	14%	92%	1,270
長崎	0%	9%	14%	8%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	79
千葉	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	16
総量	**240**	**207**	**226**	**318**	**476**	**704**	**961**	**628**	**542**	**451**	**332**	**214**	

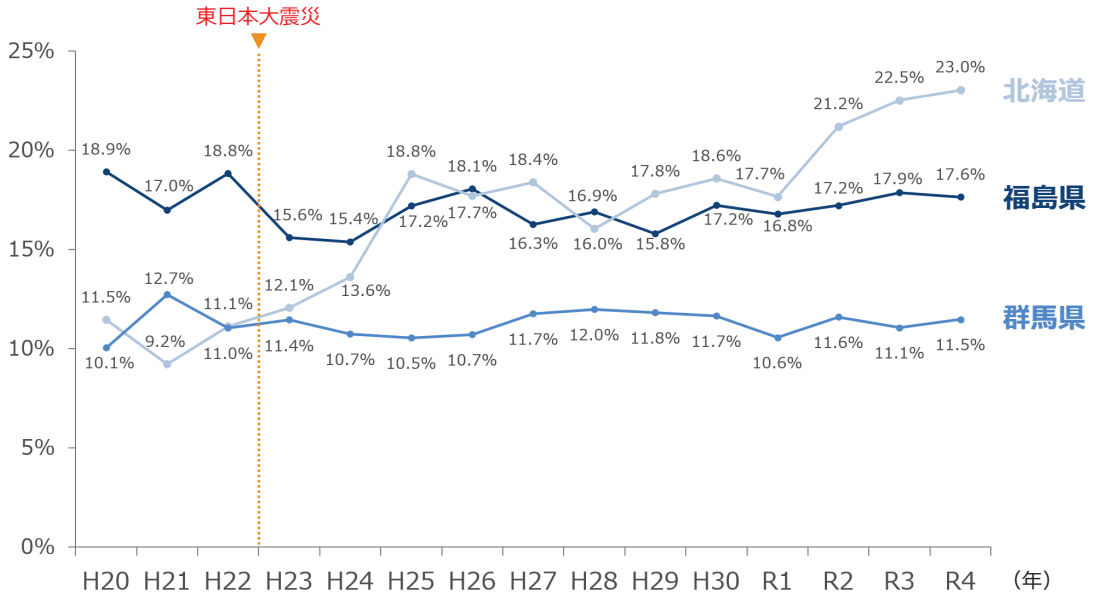
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産トマトのシェアの推移

東京都中央卸売市場の８月の福島県産トマトは、震災後にシェアが微減したものの、近年では震災前の水準まで戻った。北海道産トマトのシェアは震災後に拡大し続けて、福島県産を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

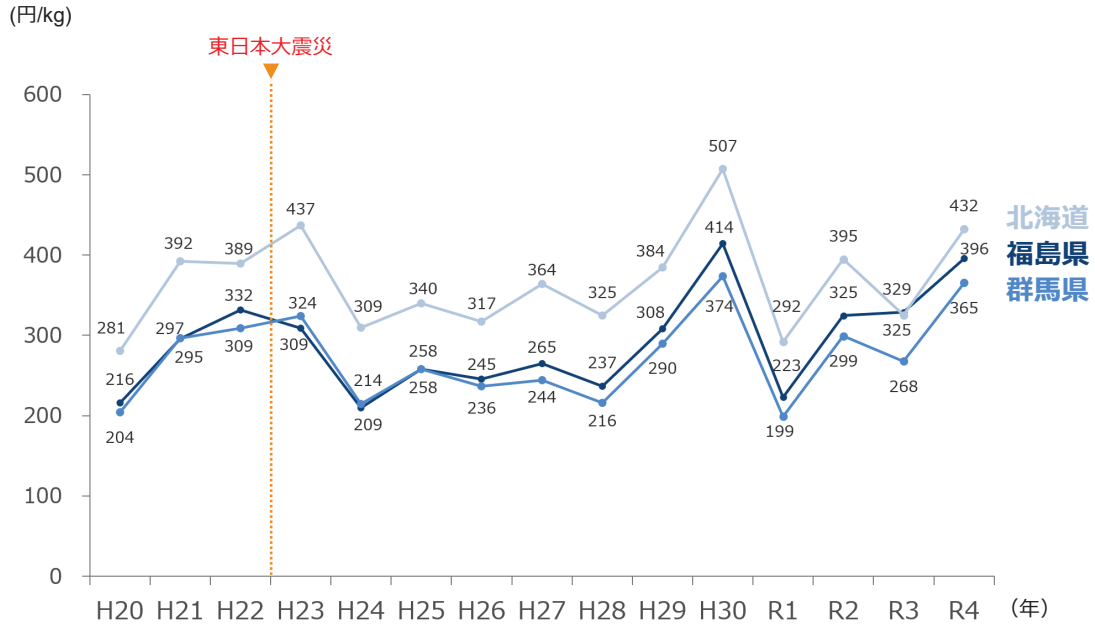


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産トマトの単価の推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産トマトの平均単価は、震災後下落した後、平成25年以降は群馬県産の価格を上回っている。近年は、北海道産との価格差は縮小している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)

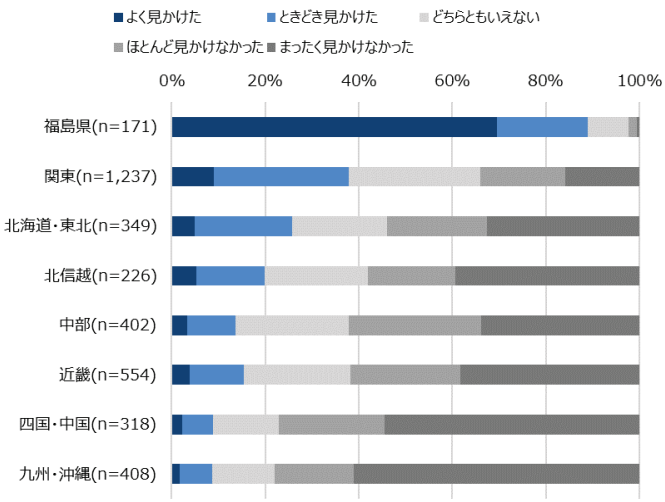


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産トマトを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

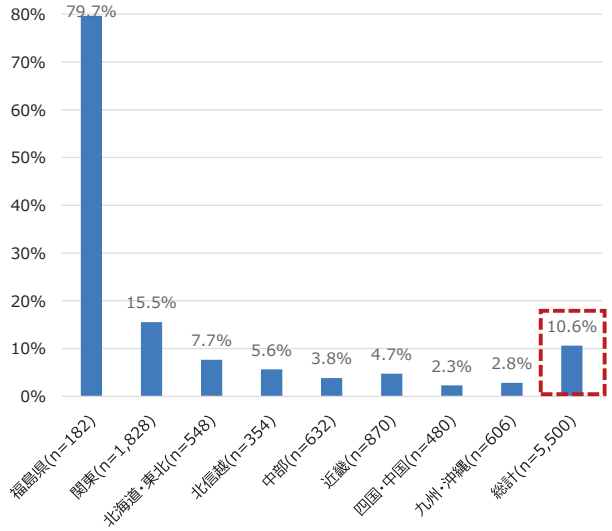
福島県産トマトをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産トマトを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では10.6%であった。

福島県産トマトを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トマトの購買経験率

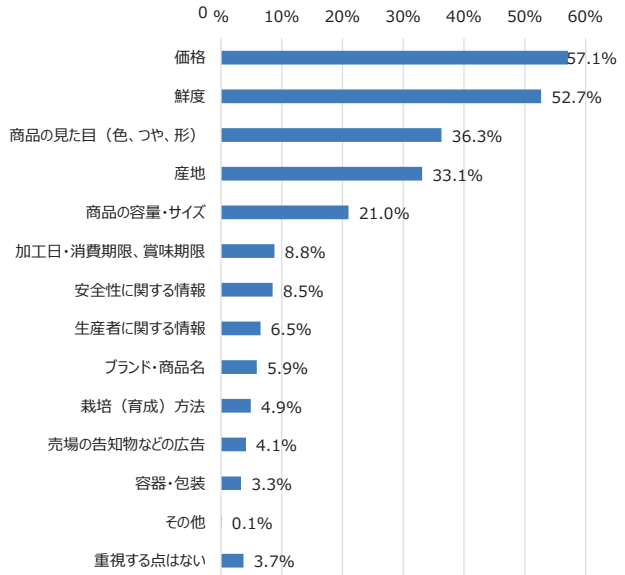


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

トマト購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

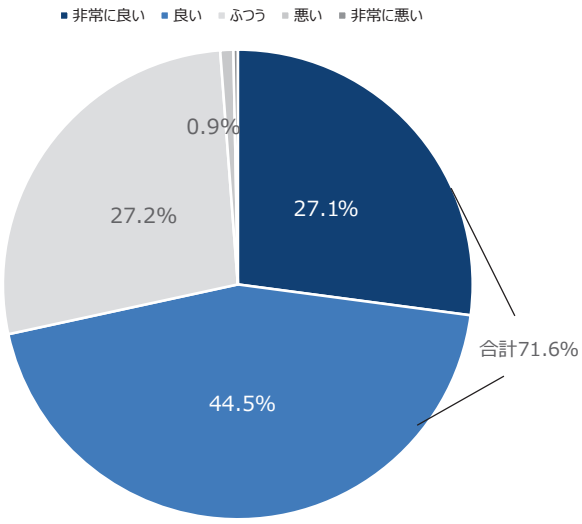
福島県産に限らず、トマト購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産トマトの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が71.6%であった。

トマト購買時の重視点（n=4,639、複数回答）



※トマト購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上トマトを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマト購買者の評価（n=584）



※福島県産トマトを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。